

平成30年7月期 中間決算短信 (平成29年7月9日 ~ 平成30年1月8日)

平成30年2月19日

ファンド名	金価格連動型上場投資信託	上場取引所	東証
コード番号	(1328)	売買単位	10口
連動対象指標	1g(1グラム)当りの円表示の金価格		
主要投資資産	社債券		
管理会社	野村アセットマネジメント株式会社		
U R L	http://www.nomura-am.co.jp		
代表者	CEO兼執行役社長	渡邊 国夫	
問合せ先責任者	商品企画部長	渡部 昭裕	TEL (03)-3241-9511
半期報告書提出予定日	平成30年3月29日		

ファンドの運用状況

1. 平成30年1月中間期の運用状況 (平成29年7月9日 ~ 平成30年1月8日)

(1)資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成30年1月中間期	6,486	(99.6)	25	(0.4)	6,511	(100)
平成29年7月期	6,069	(99.3)	41	(0.7)	6,111	(100)

(2)設定・交換実績 (千口未満切捨て)

	前計算期間末 発行済口数()	設定口数()	交換口数()	当中間計算期間末 発行済口数 (+ -)
	千口	千口	千口	千口
平成30年1月中間期	1,636	0	0	1,636

(3)基準価額

	総資産 ()	負債 ()	純資産 ((-))	1口当り基準価額 ((/ 当中間計算期間末(前計算期末) 発行済口数) × 1)
	百万円	百万円	百万円	円
平成30年1月中間期	6,529	17	6,511	3,980
平成29年7月期	6,128	16	6,111	3,735

2. 会計方針の変更

会計基準等の改正に伴う変更
以外の変更

有(無)
有(無)

Ⅱ 中間財務諸表等

金価格連動型上場投資信託

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第10期 (平成29年7月8日現在)	第11期中間計算期間末 (平成30年1月8日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	58,405,173	40,375,336
社債券	6,069,674,000	6,486,376,000
その他未収収益	-	2,413,511
流動資産合計	6,128,079,173	6,529,164,847
資産合計	6,128,079,173	6,529,164,847
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	1,650,449	1,714,434
未払委託者報酬	14,853,926	15,429,801
未払利息	162	165
その他未払費用	324,102	336,520
流動負債合計	16,828,639	17,480,920
負債合計	16,828,639	17,480,920
純資産の部		
元本等		
元本	4,169,027,408	4,169,027,408
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△)	1,942,223,126	2,342,656,519
元本等合計	6,111,250,534	6,511,683,927
純資産合計	6,111,250,534	6,511,683,927
負債純資産合計	6,128,079,173	6,529,164,847

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第10期中間計算期間 自平成28年7月9日 至平成29年1月8日	第11期中間計算期間 自平成29年7月9日 至平成30年1月8日
営業収益		
有価証券売買等損益	△11,052,000	416,702,000
その他収益	2,428,815	2,413,511
営業収益合計	△8,623,185	419,115,511
営業費用		
支払利息	11,930	9,406
受託者報酬	1,630,453	1,714,434
委託者報酬	14,673,988	15,429,801
その他費用	1,506,404	1,528,477
営業費用合計	17,822,775	18,682,118
営業利益又は営業損失(△)	△26,445,960	400,433,393
経常利益又は経常損失(△)	△26,445,960	400,433,393

中間純利益又は中間純損失 (△)	△26, 445, 960	400, 433, 393
一部交換に伴う中間純利益金額の分配額又は一部交換に伴う中間純損失金額の分配額 (△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	1, 903, 607, 236	1, 942, 223, 126
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	1, 877, 161, 276	2, 342, 656, 519

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当ファンドの中間計算期間は、平成 29 年 7 月 9 日から平成 30 年 1 月 8 日までとなっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第 10 期 平成 29 年 7 月 8 日現在	第 11 期中間計算期間末 平成 30 年 1 月 8 日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 1, 636, 196 口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 1, 636, 196 口
2. 計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 3, 735 円	2. 中間計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 3, 980 円

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第 10 期中間計算期間 自 平成 28 年 7 月 9 日 至 平成 29 年 1 月 8 日	第 11 期中間計算期間 自 平成 29 年 7 月 9 日 至 平成 30 年 1 月 8 日
1. 追加情報 平成 28 年 1 月 29 日の日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入発表後、国内短期金融市場では利回り水準が低下しております。この影響により、利息に相当する額を当ファンドが実質的に負担する場合には受取利息のマイナスまたは支払利息として表示しております。	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

第 10 期 平成 29 年 7 月 8 日現在	第 11 期中間計算期間末 平成 30 年 1 月 8 日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法 社債券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時	2. 時価の算定方法 社債券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時

価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
--------------------------------	--------------------------------

(その他の注記)

1 元本の移動

第 10 期 自 平成 28 年 7 月 9 日 至 平成 29 年 7 月 8 日		第 11 期中間計算期間 自 平成 29 年 7 月 9 日 至 平成 30 年 1 月 8 日	
期首元本額	4,169,027,408 円	期首元本額	4,169,027,408 円
期中追加設定元本額	0 円	期中追加設定元本額	0 円
期中一部交換元本額	0 円	期中一部交換元本額	0 円

2 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。